

令和4年度地方創生交付金等 事業実施結果
(令和5年度第1回亀岡市総合戦略推進会議資料)

(1)令和4年度 地方創生交付金 事業一覧

| No. | 事業名 | 交付金 |
|-----|---------------------------------------|-----------|
| 1 | あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～ | 地方創生推進交付金 |
| 2 | 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業 | 地方創生推進交付金 |

(2)地方創生応援税制に係る寄附(企業版ふるさと納税) 事業一覧

| No. | 事業名 | 個別事業名 |
|-----|--|--------------------------|
| 3 | 第2期亀岡市総合戦略推進事業 (企業版ふるさと納税による第2期亀岡市総合戦略推進計画) | 亀岡駅北公園整備事業 |
| | | 亀岡運動公園卓球台更新事業 |
| | | かめおかこども木育ひろば事業 |
| | | 京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成事業 |

令和5年度 亀岡市地方創生交付金事業評価シート(令和4年度実施事業)

| | | | | | | |
|-----------------------|---|---|--|-------------------|--------------------|-------------------|
| 事業の名称 (活用した交付金) | あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ~みんなが主役の地域振興事業 ~(地方創生推進交付金) | 事業期間 | 令和3~7年度 | 事業費(補助率) | 72,882,917円(1/2補助) | |
| 実施計画の作成主体 (広域連携対象) | 京都府(京都市、福知山市、綾部市、宇治市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町) | 事業担当課 | 市長公室SDGs創生課 産業観光部商工観光課 産業観光部農林振興課 教育部文化資料館 | | | |
| 事業概要 | 地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた、観光地域づくり法人(DMO)を全国に先駆けて地域づくり支援法人へと進化させ、DMOが観光で培ったノウハウを活かし、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた一体的な地域振興を目指す。 | | | | | |
| 事業取り組み内容 | | 事業取り組み成果 | | 事業実施写真等 | | |
| SDGs 創生課 | 京都府移住促進条例により指定する「移住促進特別区域」内において、移住者の起業のスタートアップを支援するため、店舗・事務所等の改修、設備投資へ補助金を交付した。 | 令和4年度は5つの起業のスタートアップを支援し、移住定住の促進及び地域の活性化につながった。 (穂田野地区 ドッグラン・カフェ起業支援 宮前地区 飲食店起業支援 曾我部地区 飲食店起業支援 馬路地区 アロマ・化粧品起業支援、音楽教室起業支援) | | 穂田野町 カフェ店舗改修 | 曾我部町 店舗改修 | |
| | | | | 馬路町 音楽教室店舗改修 | | |
| 商工 観光課 | 商工観光課では、 ①点在する地域資源や交通拠点を結び仕組みとして、事業者等と協力しレンタサイクル事業を展開することで滞在時間の延長に努めた。 ②丹波亀山城下町に「城下町歴史街並み案内所」を設け、地域資源を活用したコミュニティ交流拠点として運営することにより交流人口の拡大を図った。 ③無形民俗文化財である亀岡祭山鉦行事への支援を通じて、民俗行事を活用した賑わいの創出及び交流関係人口の創出を図った。 ④地域の多様な事業者が参画する(一社)森の京都地域振興社による事業実施により、各地域の取り組みを横断的に調整し、地域資源のブラッシュアップ、地域の魅力発信、知名度の向上等を図り、地域全体で交流人口の増加等を推進する基礎を構築した。 商工業分野では、 ⑤イノベーションの創発と雇用創出を目的として、サンガスタジアム byKYOCERAにおけるベンチャー企業等の実証実験を支援する「サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業」を昨年度に引き続き実施した。 ⑥各個店及び城下町在住者宅において所蔵されているひな人形を飾り公開したほか、亀岡市総合福祉センターでは高さ2m幅5mの10段のひな壇を設置し、市民から募集したひな人形の大規模な飾りつけをコンサートの開催と併せて実施した。加えて、着物着付け体験やハッシュタグ投稿キャンペーンを行い、イベントの周知や誘客に努めた。 ⑦京都サンガF.C.のホームタウンとして、京都サンガF.C.を活用した産業振興と地域活性化を図るとともにさらなる応援体制を作るため亀岡市商店街連盟が開催した「サンガ応援商店街」事業に対し、京都サンガ応援商店街づくり支援事業補助金を交付した。 | ①スマートロックシステムを導入した24時間利用可能・カード決済可能・乗り捨て可能な観光レンタサイクル事業により延べ1,307台の利用があり、域内周遊推進に寄与した。 ②旧丹波亀山城下町の周遊拠点として町屋を改装した「城下町歴史街並み案内所」を設け2,078名の案内対応を行った。 ③案内所は亀岡祭山鉦行事の際にも情報発信拠点として活用された。 ④(一社)森の京都地域振興社による事業実施により広域連携を図り、広域的に地域の魅力開発や知名度向上、更には交流人口の拡大に努めた。 ⑤「サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業」では4社の実証実験の伴走支援を行ったほか、クラウドソーシング等の新たな働き方に適応するスキル取得を支援するためのオンラインスキルアップ支援補助金を6件、創業によって雇用の創出及び地域経済力の向上を図ることを目的に、亀岡市内で新たに創業した事業者に対して、亀岡市創業支援助成金を4件交付した。 ⑥総合福祉センターでの大飾りには約500人が来場したほか、コンサートには約200人の来場があった。また、着物着付け体験では50人に体験していただいたほか、ハッシュタグ投稿キャンペーンでは23件の投稿があり、イベントの周知や誘客に一定の効果があった。 ⑦サンガ応援商店街事業では、ガラボン抽選会やサンガサポーターを対象にスタンプラリーを実施した。抽選会では92人の当選者に対し選手のサイン入りトートバッグやオリジナルクリアファイルを配布したほか、スタンプラリーには120人の参加があり、商店街への誘客効果があった。 | | レンタサイクル事業 | 城下町歴史街並み案内所 | 亀岡祭山鉦巡行 |
| | | | | SIF実証支援事業 ドローンショー | ひな人形大飾り | サンガ応援商店街事業 ガラボン抽選 |
| 農林 振興課 | 亀岡産農畜産物の高付加価値化による所得向上事業として、8事業を実施した。 ①アグリフェスタを開催した。(アグリフェスタ) ②市民農園・体験農園の開設運営支援を行った。(体験農園) ③小学校・中学校・義務教育学校において食農学習推進事業を実施した。また、地元産農産物の給食利用を行った。さらに、「おぼちゃんの亀岡ふるさと料理塾」を開催し、人気レシピをまとめたレシピ集を作成した。(食農学習・料理塾・レシピ集) ④市内産畜産物の製造販売者及び使用者への助成を行った。(安全・安心農産物補助) ⑤有機JAS取得支援及び地元産有機農産物の給食利用を行った。(有機JAS取得支援・地元産有機農産物給食利用) ⑥国産牛安定供給体制推進事業を実施した。また、かめおか肉フェスタを開催した。(亀岡牛安定供給・肉フェス) ⑦特産品の生産振興として、小豆や丹波くりの生産基盤確立強化及び生産拡大への補助を行い、生産者の所得向上に向けた体制整備を図った。(特産品振興) ⑧農の担い手新規就農支援事業を実施し、新規就農者の農業経営改善及び能力向上に対する支援を行った。(担い手新規就農支援) | ①アグリフェスタの来場者数は、昨年より500人増加し、3,500人となった。亀岡市農産物のPRにつながった。(アグリフェスタ) ②市民農園1件、体験農園1件が開設された。(体験農園) ③食農学習推進事業を小学校15校、中学校2校、義務教育学校1校で実施した。また、地元産農産物の給食利用を小学校、保育所・こども園とともに年4回実施した。さらに、「おぼちゃんの亀岡ふるさと料理塾」を年4回開催した。(食農学習・料理塾・レシピ集) ④市内産畜産物の製造販売者1事業者、使用者34団体への助成を行った。(安全・安心農産物補助) ⑤個人・団体に対して有機JAS取得支援助成金を5件交付した。また、地元産有機農産物の給食利用を保育所・こども園4園で月1回、全国で1回実施した。(有機JAS取得支援・地元産有機農産物給食利用) ⑥国際的な衛生管理基準(HACCP)に基づく亀岡牛の安定的な生産を推進し、亀岡牛と畜頭数は462頭となった。また、かめおか肉フェスタの来場者は前年を超える約2,500人となり、亀岡産畜産物の認知向上につながった。(亀岡牛安定供給・肉フェス) ⑦小豆の作付面積が856,757㎡となり、前年度と比較して53,662㎡の増加となった。(特産品振興) ⑧6名の参加があった。(担い手新規就農支援) | | アグリフェスタ | おぼちゃんの亀岡ふるさと料理塾 | 肉フェス |
| | | | | | | |

令和5年度 亀岡市地方創生交付金事業評価シート(令和4年度実施事業)

事業No.1

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--------|----------------|---|--|-----------------------------|---|--------|---|---------------------|---|--|
| 事業の名称 (活用した交付金) | あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業 ～(地方創生推進交付金) | | | 事業期間 | 令和3～7年度 | 事業費(補助率) | 72,882,917円(1/2補助) | | | | | |
| 実施計画の作成主体 (広域連携対象) | 京都府(京都市、福知山市、綾部市、宇治市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町) | | | 事業担当課 | 市長公室SDGs創生課 産業観光部商工観光課 産業観光部農林振興課 教育部文化資料館 | | | | | | | |
| 事業概要 | 地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた、観光地域づくり法人(DMO)を全国に先駆けて地域づくり支援法人へと進化させ、DMOが観光で培ったノウハウを活かし、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた一体的な地域振興を目指す。 | | | | | | | | | | | |
| 文化資料館 | 文化資料館では、ふるさと亀岡の魅力を再発見し、地域への理解と愛着を深めてもらうことを目的として、企画展を2回(①「第70回企画展 怪異・妖怪に先人のところをみる」、②「第71回企画展 文化財と過去・現在・未来」)、特別展を1回(③「第38回特別展 形原松平展」)開催した。各展示会では、関連事業としてイベントや講演会等を2回～3回実施し、オンラインによる配信も行った。 | | | ①第70回企画展(766名利用)では、地域に伝わる妖怪や地獄に関する展示を紹介するとともに、関連事業として子どもたちを対象とした、紙芝居イベント「地獄ってどんなところ?」(24名参加)も実施した。 ②第71回企画展(360名利用)では亀岡市文化財保存活用地域計画の認定を記念し、市域にまつわる文化財保護のあゆみについて紹介した。 ③第38回特別展(596名利用)では、亀山藩が終焉するまでの124年間に渡って藩主を務めた形原松平家を紹介し、ゆかりの地をめぐる「歩いて見学会」(21名参加)も実施した。 本年度は幅広い世代を対象に、イベントや体験を含めた展示事業を展開することで、交流の場を創出するとともに、地域の歴史への理解と愛着を深めた。 | | | 紙芝居イベント「地獄ってどんなところ?」 | | 第71回企画展「文化財と過去・現在・未来」 | | 第38回特別展「形原 松平展」 | |
| | | | | | | |  | |  | |  | |
| 重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価 | | | | | | | | | | | | |
| KPI① | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI② | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI③ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI④ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | |
| 地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数(全体) | 814人 | 達成 | 地域での新規就職者数(全体) | 1,253人 | 未達成 | 本事業により空き家等を活用して交流を行う拠点数(全体) | 3箇所 | 達成 | 地域の一人当たり所得向上額(全体) | 113.6千円 | 達成 | |
| | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | | | | | |
| | 1,119人 (亀岡市52人) | | | 874人 | | | 4箇所 | | | 128千円 (亀岡市105千円) | | |
| 評価・意見 記入欄 | 【地方創生に効果があった】 ・事業実施写真で示したように起業支援をおこなっていることは嬉しく思う。令和5年度以降も優良事例を増やして欲しい。 ・働く場所もアフター5も充実させ、それを発信していくことが、働き盛りの就職者誘致に繋がり、就職者数の向上にも繋がると思う。 ・結婚し、子どもを産み育てる世代が帰ってきたくなる、選択する場所となるように、亀岡の子育て環境、生活環境を整えて、待つことが効果的な政策と思う。 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|--|-------|-------------|----------|-------------------|
| 事業の名称 (活用した交付金) | 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業 (地方創生推進交付金) | 事業期間 | 令和3~7年度 | 事業費(補助率) | 5,793,240円(1/2補助) |
| 実施計画の作成主体 (広域連携対象) | 京都府(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、井手町、精華町、伊根町、与謝野町) | 事業担当課 | 市長公室SDGs創生課 | | |
| 事業概要 | <p>包括連携協定締結企業や金融機関、大学、地域団体等と連携しながら「子育てにやさしいまち(誰もが住みやすいまち)の核づくり」「地域での仕事づくり」「関係人口の創出、若者の定住促進」を三位一体で進め、多様なまちの選択肢を創出する。</p> <p>具体的には、若者・子育て世代がそれぞれのニーズに応じた自身の考えるベストな居住地を京都府内で選択できる環境を創出し府外への転出を抑制する。同時に、都道府県魅力度ランキング2位のブランド力を活かし、京都の魅力(文化、自然、食など)に関心を持って移住を希望する者が自身の生活環境のニーズが叶えられる地域を選択できる状態を整えることで府外からの移住促進を図る。</p> <p>特に、中南部地域(亀岡市、城陽市、八幡市、南丹市、井手町)については、京阪神地域の通勤都市としての機能があり、30代の転入はある一方で、10代の転出は比較的少ないものの20代の京都市等への転出超過が続いている。この傾向から、子育て世代の定住に向けた取組が必要である。そこで、進学、就職、休日の過ごし方などに都会生活の利便性を活かしながら田舎暮らしや自然環境のゆとりを両立できるという共通の特性を活かしながら、地域における仕事づくりや既存のコミュニティの力を活かした子育て支援、新旧住民の交流促進等により、子育て世代が子育てしたいと思えるまちづくりを進める。</p> | | | | |

| 事業取り組み内容 | 事業取り組み成果 | 事業実施写真等 |
|---|---|--|
| <p>SDGs創生課</p> <p>若者が仕事を求めて転出する状況に歯止めをかけるため、下記の3つの事業を実施した。</p> <p>①若者の仕事場・子育て魅力発信特別サイト作成業務事業令和3年度に実施した転出入実態調査結果を踏まえ、近隣地域の子育て世帯を主な対象とする、仕事場や子育て環境の魅力を発信する特設サイトを作成した。</p> <p>②仕事場スペース掘り起こしとして、自治会を中心とした地域団体による空き家等の掘り起こしを支援した。</p> <p>③首都圏へのアプローチとして、先進技術や在宅ワーク等のノウハウを持つ首都圏企業等へアプローチするため、「第7回オーガニックライフスタイルEXPO」に出席し、本市の強みである「SDGs未来都市亀岡」を中心に発信した。また、亀岡市移住・定住促進施設「離れ」にのうみを活用し、地方で起業を検討している人を対象としたツアーを実施した。さらに、亀岡市における起業を映像化し、広報プロモーション課と連携してWEBにより広くアプローチした。</p> | <p>①京都駅における屋外広告(デジタルサイネージ・JR車体広告)やデジタル広告(亀岡市から100km圏内の25歳~44歳)を実施し、本サイトへ誘導したことにより、多くの方(令和4年度実績:アクセス件数は7,855件)に本市の魅力を訴求し、人口の社会減解消へ寄与することができた。</p> <p>②空き家・空き地バンク登録物件の増加による移住及び空き家等の利活用促進を図った。令和4年度は地域団体による掘り起こしが10件あり、空き家・空き地バンクに登録いただいたため、マッチング等を通じて人口の社会減解消へつなげた。</p> <p>③「第7回オーガニックライフスタイルEXPO」への出席により、環境分野における企業2社、有機農業分野における企業6社との連携について協議を進めることとなった。また、2024年6月にはオーガニックライフスタイルEXPO自体が京都で開催される予定であり、当EXPOの誘致にもつなげた。</p> <p>そのほか、起業検討者を対象としたツアーやWEB広告などの効果もあり、令和5年度の亀岡市内における新規起業者は、当課が把握しているだけで6件となり、移住定住や関係人口の創出に寄与することができた。</p> | <p>若者の仕事場・子育て魅力発信特別サイト1</p> <p>第7回オーガニックライフスタイルEXPO(2022.9.16-18)</p> <p>起業検討者向け現地ツアー(2023.3.4・3.11)</p> <p>若者の仕事場・子育て魅力発信特別サイト2</p> <p>首都圏へのアプローチ起業映像</p> |

重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価

| KPI① | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI② | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI③ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI④ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 |
|--------------------------|-----------|--------|----------------------|--------------|--------|----------------------------|-----------|--------|------|-----------|--------|
| モデル地域市町村における人口の社会減解消(全体) | -626人 | 達成 | 市町村による重点取組エリアの設定(全体) | 14箇所 | 達成 | エリア内の起業数、雇用数等(関係人口の創出)(全体) | 145件 | — | | | |
| | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | | | | |
| | -117人 | | | 19箇所(亀岡市1箇所) | | | 未発表 | | | | |

| | |
|--------------|---|
| 評価・意見 記入欄 | <p>【地方創生に効果があった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住に関する課題は、全国どこでも同様の形で直面しているところであるが、亀岡牛やサンガスタジアムbyKYOCERA事業等、地域の魅力を付加しながら、事業に取り組んでいただきたい。 ・子育てにやさしいまちについては亀岡の立地条件を全面に押し出し、引き続き子育て世代に向けた事業をすすめていただきたい。 |
|--------------|---|

| 事業名 | 第2期亀岡市総合戦略推進事業 | 地域再生計画の名称 | 企業版ふるさと納税による第2期亀岡市総合戦略推進計画 | |
|--|---|--|--|---|
| 個別事業Ⅰ (事業担当課) | 亀岡駅北公園整備事業 (まちづくり推進部 都市整備課) | 事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額) | 3,004,430円 (3,000,000円) | |
| 事業取り組み内容 | 事業取り組み成果 | 事業実施写真等 | | |
| <p>亀岡駅北地区で整備した亀岡駅北1号及び2号公園(愛称:かめきたりバーサイドパーク)において、木と触れ合う機会を増やし、豊かな子育て環境を整えるとともに、公園を訪れた人が亀岡市の魅力溢れる山河の景観を望みながら、憩える空間となるよう、木製ベンチ及び木製テーブルベンチを設置した。</p> <p>・設置台数 ベンチ:23台 テーブルベンチ:3台</p> | <p>令和4年7月2日(土)に亀岡駅北1号公園にて亀岡駅北1号及び2号公園(愛称:かめきたりバーサイドパーク)並びに4号公園(愛称:かめきたプランコ公園)の竣工式が行われ、その式典において木製ベンチ及び木製テーブルベンチの初披露を行った。公園利用者からは「等間隔にベンチが置いてあり亀岡の原風景が楽しめる」等の感想を頂くなど、公園を訪れた誰もが目の前を流れる曽我谷川や、田園や山野の眺望の中憩える快適で魅力的な空間を創出した。</p> | <p>テーブルベンチ</p>  | <p>木製ベンチ</p>  | <p>公園全景</p>  |
| 個別事業Ⅱ (事業担当課) | 亀岡運動公園卓球台更新事業 (まちづくり推進部 都市整備課) | 事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額) | 4,880,381円 (1,000,000円) | |
| 事業取り組み内容 | 事業取り組み成果 | 事業実施写真等 | | |
| <p>亀岡運動公園は、本市のスポーツに触れ合えるフィールドとして、市内外から多くの方々にご利用いただいている。「第5次亀岡市総合計画」の重点テーマとして掲げる「スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」の達成に向けた取り組みのひとつとして、亀岡運動公園で利用されている、老朽化・経年劣化が目立つ卓球台を更新した。</p> <p>・更新台数:29台</p> | <p>令和5年3月12日に新卓球台披露式および第35回亀岡オープン卓球大会が開催された。更新した卓球台を使用し、出場選手は熱戦を繰り広げ、大会主催者から感謝のお言葉をいただいた。今後は、女子プロ卓球チーム「京都カグヤライズ」が参戦するリーグの開催も予定されており、亀岡運動公園の利用者のサービス向上と、更なる施設利用者の増加の期待される環境整備の充実を図った。</p> | <p>卓球台</p>  | | |
| 個別事業Ⅲ (事業担当課) | かめおかこども木育ひろば事業 (こども未来部 子育て支援課) | 事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額) | 99,999,900円 (30,000,000円) | |
| 事業取り組み内容 | 事業取り組み成果 | 事業実施写真等 | | |
| <p>亀岡市の進める「ウッドスタート宣言」による、暮らしの中に木を取り入れた子育て・子育て環境充実に向け、サンガスタジアムby KYOCERA内に全天候型屋内遊び場、木育ひろば(KIRI no KO)を整備した。</p> | <p>亀岡市を象徴する山や霧、保津川など、亀岡らしさをモチーフにした遊びの場を新たに整備することで、未来を担う子どもたちを通じた、「子育てにやさしいまちづくり」、「環境先進都市づくり」、「活力のあるにぎわいのまちづくり」を核とした三位一体の事業の推進に寄与し、好循環から生み出される相乗効果の一翼を担うことが期待される。</p> | <p>木育ひろば(KIRI no KO)</p>  | <p>木育ひろば(山に囲まれた地形)</p>  | <p>木育ひろば(湯の花温泉)</p>  |

| 事業名 | | 第2期亀岡市総合戦略推進事業 | | | 地域再生計画の名称 | | 企業版ふるさと納税による第2期亀岡市総合戦略推進計画 | | | | |
|--|---|--|-------------------|-----------|---|---------|----------------------------|--------|---------|-----------|--------|
| 個別事業Ⅳ (事業担当課) | | 京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成事業 (生涯学習部 生涯スポーツ課) | | | 事業費 (内、地方創生応援税制の適用のある寄附額) | | 1,394,330円 (1,300,000円) | | | | |
| 事業取り組み内容 | | 事業取り組み成果 | | | 事業実施写真等 | | | | | | |
| <p>多くの市民に、京都サンガF.C.のホームスタジアムがあるわがまちを誇りとして感じていただくため、「シビックプライド醸成プロジェクト」と題し、市内の小中学校の児童を対象にサンガスタジアムby KYOCERAを体験してもらうスタジアムツアーを実施した。</p> <p>昨年度の実施では1校のみの実施であったが、今年度より全校18校の小中学校を対象に取り組んだ。</p> <p>参加人数 1,240名 (各校最大2学年) 実施日数 8日間</p> <p>～実施内容～ スタジアム体験(スタジアムツアー) ピッチ体験 スタンドで昼食(希望制)</p> | | <p>スタジアムを体験してもらうスタジアムツアーでは、スタジアムの大きさや収容人数など、実際にスタジアムの広さを肌で感じながら学ぶことで、わがまちにあるスタジアムへの愛着や誇りに繋がる取組となった。</p> <p>またピッチ体験では、実際に選手がプレーをするピッチに立ち、選手と同じ目線からスタンドを見渡す体験をはじめ、京都サンガF.C.のスタッフが各クラスの担当となり、生徒と一緒に軽い運動に取り組み、生徒達の興味や関心をさらに高めることができた。</p> <p>プログラム終了後、参加生徒に「スタジアムにまた来てみたいか」を尋ねると、ほとんどの生徒が元気いっばいの挙手をしていた姿が印象的であり、サンガやスタジアムを身近に感じてもらえる機会の創出ができた。</p> | | |  | | | | | | |
| ●第2期亀岡市総合戦略推進事業 | | | | | | | | | | | |
| ア 子育てしたい、住み続けたいまちづくり事業 (個別事業Ⅰ、Ⅲ) | | | | | イ スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちづくり事業 (個別事業Ⅱ、Ⅳ) | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価 | | | | | | | | | | | |
| KPI① | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI② | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI③ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI④ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 |
| 待機児童数 | 43人 | 未達成 | 移住相談窓口を利用した年間移住者数 | 34組 | 未達成 | 年間観光入込客 | 2,131,510人 | 達成 | 年間観光消費額 | 34.6億円 | 達成 |
| | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | | | 実績値(R5.3) | |
| | 186人 | | | 26組 | | | 2,320,370人 | | | 63.8億円 | |
| 評価・意見記入欄 | <p>【地方創生に効果があった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税については様々な形で活用できるのではないかと考える。 ・今後は全国都市緑化フェアに向けた事業も推進されると聞いている。景観や自然を重視し、芯とした取り組みを進めるのも良い。スポーツを核としたまちづくりとして、個別事業④の京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成事業は1,240名もの子どもたちがスタジアムを体感できるという事業もされている。例えば、市内にプロ卓球チームが来るのであれば、彼らが卓球を子どもたちに教えるなど、何かに対して子どもたちや大学生を取り入れることは、子育て世代に対し訴求効果があると思う。亀岡市は子育てに最善の環境だとPRし、様々な施策を展開できれば、5年後、10年後に移住という成果が見えてくると思う。 | | | | | | | | | | |